

平成16年4月23日

各位

会社名 リオン株式会社
代表者名 代表取締役社長 井上清恆
(コード番号6823 東証第2部)
問合せ先 取締役管理統括部長
清水健一
(TEL.042-359-7834)

平成16年3月期 通期業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、平成16年4月23日開催の取締役会において、平成15年11月20日の決算発表時に公表した平成16年3月期(平成15年4月1日~平成16年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成16年3月期通期業績予想数値の修正(平成15年4月1日~平成16年3月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	15,300	160	70
今回修正予想(B)	15,366	286	128
増減額(B-A)	66	126	58
増減率(%)	0.4	79.0	83.9
前期実績(平成15年3月期)	15,100	194	8

2. 平成16年3月期連結業績予想数値の修正(平成15年4月1日~平成16年3月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	18,000	360	200
今回修正予想(B)	18,015	550	330
増減額(B-A)	15	190	130
増減率(%)	0.0	52.8	65.0
前期実績(平成15年3月期)	17,192	184	180

3．修正の理由

平成16年3月期の業績につきましては、有力海外メーカーとの激しい競争が継続する補聴器の売上高や、医療機関での設備投資計画の凍結が続く医用検査機器の売上高が低迷したものの、一部産業における設備投資の活発化の動きに伴い、音響・振動計測器と微粒子計測器の分野での売上高は前年実績を上回り、回復の兆しが見えてまいりました。また、当社グループ全体での管理費、人件費等の諸経費削減への取り組み、数年に亘る新製品の原価低減設計の推進等がようやく効果をあげつつあり、売上高、経常利益、当期純利益で前回発表予想数値を上回る見込みとなりました。

以 上